

第 2 回 市立四日市病院あり方検討委員会議事録（要約版）

1. 日 時： 令和 8 年 7 月 27 日（月） 13 時 00 分～15 時 00 分
2. 場 所： 市立四日市病院 プレハブ 2 階会議室
3. 出席者： 伊藤委員長、柴田副委員長、佐久間委員、新保委員、田中委員、
長谷川委員、蜂須賀委員、丸山委員、山路委員、山中委員、渡辺委員
（欠席者：山本委員）

4. 会議次第：

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 前回までの振り返り
 - (2) 政策的医療および他医療機関との役割分担・連携について
 - ・救急医療
 - ・脳血管疾患
 - ・心血管疾患
 - ・小児医療
 - ・周産期医療
 - ・がん
- 3 その他
 - ・市民アンケート速報
- 4 閉会

5. 内 容

1 開会

伊藤委員長の開会宣言により開会。なお、第 1 回委員会での決定に基づき、今回以降も非公開とすることを再確認。

続いて事務局より、出席状況（出席 11 名、山本委員欠席）および会議成立要件を満たしている旨を報告の後、配布資料及び進行等について説明。

2 議事

(1) 前回までの振り返り

事務局より「第 1 回委員会の振り返り（資料 3）」について説明。

各委員からの質問・意見は特になし。

(2) 政策的医療および他医療機関との役割分担・連携について（救急医療・脳血管疾患・心血管疾患）

事務局より「政策的医療について【救急医療】（資料 4-1）」「政策的医療について【脳血管疾患】（資料 4-2）」「政策的医療について【心血管疾患】（資料 4-3）」について説明。

【主な意見等】

- 議論にあたっては、地域における医療提供体制の現状を正確に把握するため、形式的な指定の有無ではなく、医師数をはじめとする「病院の実質的な対応能力」を整理する必要がある。
- 心臓や脳血管の救急分野を志望する若手医師が全国的に減少する中、今後も地域に必要な人員を確保するためには、専門医育成に資する症例数が集まる環境整備だけでなく、当直や待機当番等の負担を軽減する体制づくりが必要不可欠である。
- 持続可能な医療提供体制を構築する上で、「医療の質の確保」と「医師の負担軽減」の両立は重要な観点であり、その実現に向けて医療機能の集約化等について検討すべき。
- 医師派遣に対する医局人事の影響力が低下する中、地域病院の当直や待機当番の負担は医師の勤務先選択の重要要素であり、結果的に規模が大きく医師数の多い病院に医師が集まりやすい傾向がある。こうした観点からも、施設の集約化による規模拡大も必要である。
- 三次救急を 1 病院に集約すると想定した場合、今以上の大規模病院の建設が必要となり莫大な費用がかかるため、単一の設立主体のみで実現するのは困難である。
- また、集約化された病院が「災害医療」や「新興感染症対応」といった不採算の政策医療をも一手に抱え込むことになれば、経営的・機能的な負荷が過大になることも懸念される。
- 救急搬送の平準化は救急医療を守る上で有効な手段であり、特定の病院に負担が集中しないよう調整を図るべきである。
- 心血管疾患において大動脈解離などの緊急手術を実質的に担えているのは、北勢医療圏では既に市立四日市病院のみとなっており、脳疾患分野においても同様の傾向が見られる。こうした中、高度な処置を要する診療科を将来にわたり地域でいかに維持していくかが大きな課題である。
- 今後の医療体制の構築においては、「救急搬送ならこの病院」と一括りにするのではなく、「この診療科・疾患ならこの病院」といった病院の枠を超えた診療科・疾患別の役割分担や、待機当番の輪番制導入等について検討していくことが現実的である。

(3) 政策的医療および他医療機関との役割分担・連携について（小児医療・周産期医療）

事務局より「政策的医療について【小児医療】（資料 5-1）」「政策的医療について【周産期医療】（資料 5-2）」について説明。

【主な意見等】

- 小児・周産期医療はいずれも将来需要の減少が見込まれる中、複数施設に分散した現行体制の合理性を見直す必要がある。その上で、輪番制の導入等による役割分担の明確化、もしくは機能の集約化及びそれに伴う広域的な患者受け入れ体制等について検討すべき。

- 周産期医療については、地域の正常分娩を担っている個人産院の将来的な継続性も考慮した上で、新病院に求められる体制や病床数等を決定する必要がある。

(4) 政策的医療および他医療機関との役割分担・連携について（がん）

事務局より「政策的医療について【がん】（資料6）」について説明。

- 時間の都合上、議論は次回（第3回）とする。

3 その他

市民アンケート速報

事務局より、無作為抽出 3,000 件に対し、7 月 22 日時点で 1,604 件の回答があり、回答率は 53.5%であることを報告。

- 市民アンケートの詳細分析結果については、次回の委員会で報告する。

次回の議題について

次回も引き続き、政策的医療を中心に具体的な議論を深めることを確認。

4 閉会

次回の委員会は令和 8 年 10 月 1 日に開催予定。